

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公開番号】特開2019-96006(P2019-96006A)

【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2019-023

【出願番号】特願2017-223929(P2017-223929)

【国際特許分類】

G 06 T 7/00 (2017.01)

G 06 N 3/04 (2006.01)

G 06 N 3/08 (2006.01)

【F I】

G 06 T 7/00 350 C

G 06 N 3/04

G 06 N 3/08

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月17日(2020.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

図4は、本実施形態に係る異常検知システムが有する構成のうち、異常検出時の動作に係る動作ステージである「検出時」に関連する構成の一例を示すブロック図である。図4に示した構成では、図3に示した構成に、PC(Personal Computer)のディスプレイやタブレットPC、スマートフォン、フィーチャーフォン等が適用可能な端末装置40が加わっている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0101

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0101】

[第2の実施形態]

本実施形態を含む以下の各実施形態では、第1の実施形態との差分について説明し、以下で特に触れない限りは第1の実施形態と同様であるものとする。第1の実施形態では、データ中の物体やその状態を認識する畳み込みニューラルネットワーク(CNN)である第1のCNNと、さらに詳細な特徴を認識するCNNである第2のCNNと、があり、学習に基づいてそれらの中間の認識処理結果を統合して認識結果を得る例を示した。その際の構成の第一の例は、第1のCNNと第2のCNNとがそれぞれ一つあり、組として動作するTwo-streamの構成であった。また、その他の例として、第1のCNNと第2のCNNの組が複数ある場合の構成について例示した。これらはいずれも第1のCNNと第2のCNNとが組として一対一の対応関係にあるという特徴がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

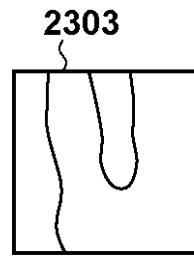
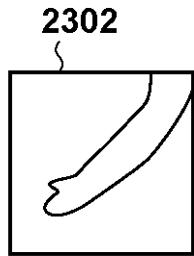
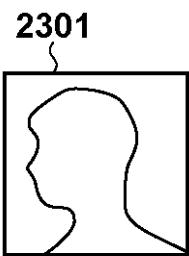
【補正対象項目名】図20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2 0】

ゼロ埋めによる複数パーティデータ成形



↓ 変形処理



↓ ゼロ埋め

